

2025 World Rowing



U19 Championships – Report 9

8月8日(金)

本日の U19 JAPAN TEAM は、4 クルーが登場！それぞれのレースに、強い気持ちを持って臨みました！JM1×(上野選手・美方高校)の D final を皮切りに、JW2×(中世古選手・美方高校/楳選手・加茂高校)と JM2×(首田選手・津幡高校/岡本選手・鳥取城北高校)は C final に挑みました。その後、JW1×(小松選手・本荘高校)が続き、Semi final A/B 進出を目指し、Quarter final に挑みました！6人が、逆風の中、実況も興奮気味に「JAPAN」を連呼するような、good race を展開してくれました！

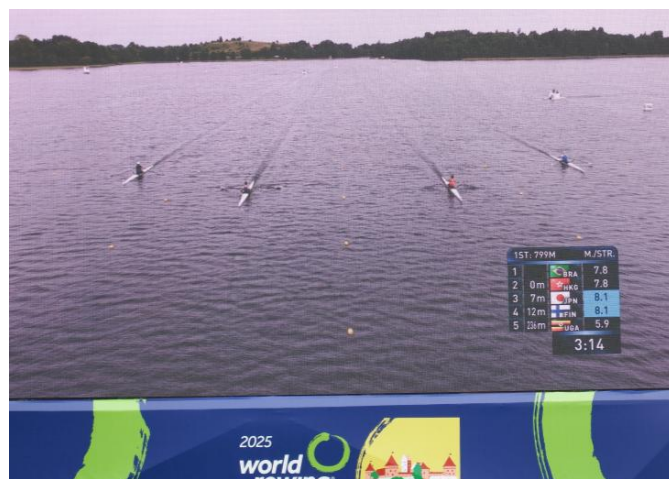
C final 後続を振り切り 1 着で finish し、ハイタッチを交わす JM2×(S 首田笙選手 B 岡本成世選手)



JM1×(上野晴生選手)

Final D 3着(総合21位)

2025 WORLD CHAMPIONSHIPS			
STANDING 1000M			
BRA	Arthur CARDOSO GONCALVES	4:02.98	
HKG	Wing Fai HO	+0.69	
JPN	Haruki UENO	+2.83	
FIN	William OEHMAN	+4.60	



JW2×(中世古那奈選手・梶 ひまり選手)

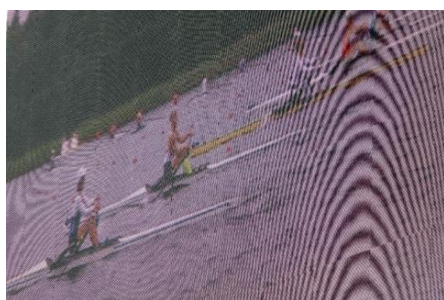
Final C 2着(総合14位)



JM2× (首田笙選手・岡本成世選手)
Final C 1着 (総合13位)



JW1× (小松 煌選手)
Quarter final
5着 Final Cへ



14:00 より、Coach Meeting に参加して参りました！

JC ローランド会長の話

- ・ローイング競技は変わっていかないと生き残れない。オリンピックにしろ世界選手権にしろ、この競技を世の中に認めてもらうために変革が必要だ。ロスオリンピックやコースタルへの取り組みもその一環だ。敗者復活をなくしたのも同様であるとのこと。

Youth Rowing への関わり

- ・U19&U23 の若い世代への後押しをしっかりとっていく。この2つのカテゴリーは、ほぼ一緒に扱っている様子。運営/エントリー/結果の分析をまとめて行っている。オセアニア、アジア、アフリカ、南北アメリカとの連携をとっていく。



来年の U19 選手権

- ・2026 世界ジュニアはブルガリアのプロヴディフ 8 月 6～9 日
- ・2026 ユースオリンピックはセネガル-ダカール 10 月 31 日～11 月 3 日

※参加資格 2008 年 11 月 14 日以降生まれ。全体で男子 32 人女子 32 人、NOC あたり最大 3 名。国内でのビーチスプリント大会に参加したと証明された者。

今回の大会のエントリー状況

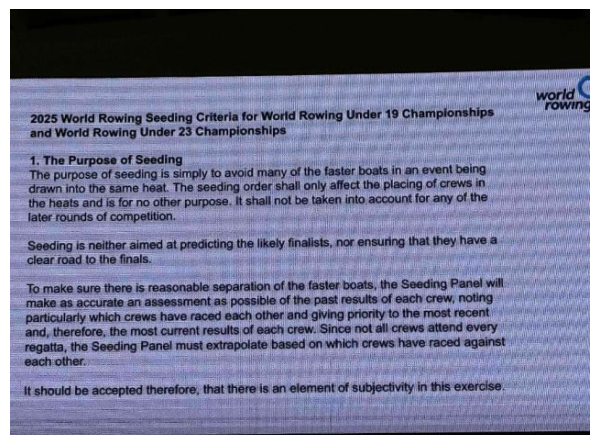
- ・平均年齢が 17.1 歳。14 歳の女子選手が 2 人いる。男子エイトの女子コックスが 8 人、女子エイトの男子コックスが 1 人。



- ・70%がヨーロッパ、残り 30%はそれ以外、イタリアとドイツがフルエントリー（12）、ホスト国 リトアニアが 10 クルー。棄権した国がアルジェリア、カザフスタン、クエート。
- ・今回からシードを採用し、敗者復活を無くした。

シードについて&敗者復活戦を無くしたことについて（これはセットで考えている）

- ・シードを決めるシステムはまだ思考段階だが、強いクルーが一つに固まるのを避ける必要がある。これは敗者復活を無くしたことによる。またシードによって強いクルーが、バラけたのでノーシードといえども勝ち上がるチャンスが増えたと考えている。
- ・予選 38 組に 2 艇ずつ（エントリー数によって 3 のところもあり）シードを入れた。一位になったのが 28 艇、二位になったのが 25 艇、つまり 69.7%が予選を上がったことになる。
- ・例えば今年のエントリーの年齢を見ると、18 歳は 37%で残りは次年度以降も出場する可能性が有る。シードではなくてもまたチャンスがある



- ・「タイムであげることにについて、コンディションの違いがあるのでは?」と質問
→ ここ何年かの統計をとって 94%はほぼ同じだと分析している。違う時は 10 分でも違う時がある。それに対して不公平といえるだろうか?
- ・「敗者復活戦はもう採用することはないのか?」と質問
→ 回答は「もうない。これは他競技を見ても敗者復活戦をやるのはおかしい（時代遅れ?とは言っていないかったけど）、アンフェアだなんて他競技では言わない。そのために公平性を考えてタイムであげている。」とのこと。
- ・シードについて、ワールドローイングの Youth 委員会で、前年度の U19、U23 での結果、ヨーロッパ選手権の結果等を検討して決める。他にいい方法があるなら是非提案して欲しい!

こんな感じで、約 2 時間ほどの Coach Meeting でした! Meeting を終え、外に出ると艇庫付近では、審判の方々が集まり、研修会が開かれており、我々スタッフも立ち止まり、耳を傾けました。我々が足を止め聞き入った内容は、「スポンサーステッカーについて」でした。審判だけでなく、我々が質問をしても、詳しく回答をしていただき、短い時間でしたが、大変有意義な時間でした!



明日は、JW1×（小松 煌選手）の Final C です!
最後まで、1 つでも高い順位を目指し、艇を滑らせたいと思います。日本からの皆様の応援、よろしくお願いいたします!



https://www.google.com/url?q=https://worldrowing.com/event/2025-world-rowing-under-19-championships/&sa=U&sqi=2&ved=2ahUKEwj47KqHpvqOAxW7HhAIHbpQBmMQjBB6BAgbEAY&usg=AOvVaw2MQiaNsxMzvFg6G_lyUDPQ

◎JM2× 首田笙(津幡高校)、岡本成世(鳥取城北高校)
◎JW2× 中世古那奈(美方高校)、梶 ひまり(加茂高校)

◎JM1× 上野晴生(美方高校)
◎JW1× 小松 煌(本荘高校)

次世代の JAPAN Rowing を担う U19 選手に、ぜひ注目と応援をよろしくお願いいたします!